



交通安全ニュース

一般道路での後部座席シートベルト着用率 岡山県 全国ワースト6位!!

昨年、JAFと警察庁が合同で実施したシートベルト着用状況全国調査の結果、未だ後部座席での着用が定着しておらず、特に岡山県では、**一般道路での着用率が低い**ことが明らかとなりました。

一般道路

	岡山	全国
運転席 …	98.5%	99.0%
助手席 …	95.9%	96.5%
後部席 …	28.0%	40.3%

高速道路

	岡山	全国
運転席 …	99.2%	99.7%
助手席 …	97.3%	98.5%
後部席 …	82.8%	75.8%

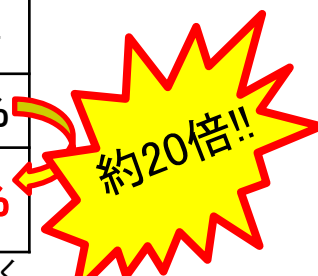
★ シートベルト非着用者の致死率【令和2年中】

区分	死者数	負傷者数	合計 (死傷者)	致死率
着用	13人	2,969人	2,982人	0.4%
非着用 (うち助命)	11人 (10人)	127人	138人	8.0%

※農耕車等の特殊車を除く

○ 致死率＝死者数÷死傷者×100

○ うち助命＝ベルトをしていれば命が助かっていた可能性のあるもの



後部座席シートベルト非着用の危険性

- 1 車内で全身を強打
- 2 車外に放り出される可能性
- 3 前方に投げ出され、前席の人が被害を受ける可能性



昨年、後部座席でシートベルトを着用せず、死亡したり負傷した人は53人。
そのうち、46人(約90パーセント)はシートベルトをしていれば、被害が軽減したと考えられる状況でした。

シートベルトは「命綱」です。また、チャイルドシートも正しく着用させましょう！



～キャッチフレーズは「ゆずる・とまる・まもる」～
岡山県警察本部交通部交通企画課